

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文 「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 一宮市栄46-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931 ☎491-0858

ロータリー:変化をもたらす

URL:<http://rc138.org>

E-Mail:rc138@lily.ocn.ne.jp

2018年2月15日 第3322回例会

会 長 青山 佳裕 副 幹 事 山口 元彦
幹 事 関戸 徹 副 会 長 船橋 正真
会長エレクト 榊原 讓 会報委員長 渡邊 肇

プログラム

イニシエーションスピーチ

石川信吾君 テーマ「私の趣味」

嶋下昌充君 テーマ「自己紹介」

ロータリーソング 「それでこそロータリー」

第3320回例会の記録
2018年2月1日(木)

会長挨拶

青山佳裕

こんにちは！先週は寒い中、新春初笑い夜間例会にご出席ありがとうございました。初の落語演芸会いかがでしたでしょうか。楽しんで頂けましたか。

寒さもまだまだ続きますが、風邪など引かれませんよう、体調管理には十分お気を付けられますようお願い申し上げます。

〈真清田を学ぶ〉

・節分祭 2月3日(土)午前10時
各季の始まりの日 (立春2/4、立夏5/5、
立秋8/7、立冬11/7の前日)

新春を迎えるための災厄除霊を祓う。

豆を撒いて邪気を祓い無病息災を願う。

真清田神社では昭和26年吉田萬次氏が発起人として施工され現在に至。

・紀元祭 2月11日(日)午前9時

「建国記念日」神武天皇即位の日

四大節の一つ(四方拝1/1、紀元祭2/11、天長祭4/29、明治祭11/3)

・祈年祭 2月17日(土)午前9時

「としごいのまつり」

年の初めに五穀豊穰を祈る大祭。

収穫祭の新嘗祭11/23と対の大祭です。この日は祝日になっても良いのではと思います。

次回の予定

卓話

大國香奈子氏

(ドリームシトリン女子ソフトボール監督)

理事会報告

幹事

関戸 徹

* 報告事項 *

☆ 2月度のプログラムは週報掲載

☆ 1月度のニコボックスは 21,000 円

☆ 1月度のドリンクニコボックスは 1,778 円

☆ ロータリーレート2月から110円

* 協議事項 * 以下の項目を承認

☆ 新春夜間例会決算

☆ 春の親睦家族会 4月12日(木)京都 例会変更

☆ 2018-19 会長エレクト研修セミナー1名登録

☆ 2月末引き落とし 新春夜間例会登録料 7,000 円

「ロータリーの友」2月号紹介 委員長 浅井孝介
・横組み3頁をご覧ください。ライズリーRI会長メッセージです。113年前の2月、4人の会員から成る最初のロータリークラブの例会が開かれました。

当時は、ポール・ハリス氏の求めた親睦・人脈・くつろげる場を作る事からスタートしました。その後ロータリーは、非常に多様性に富んだ組織となり、最初の会員が受け取ったものとは比較にならないほど多くの物を我々に、また世界に与えられる団体へと変化して来ました。「超私の奉仕」と言う奉仕を目的とする組織になりました。変化をもたらすロータリーを通して奉仕と親睦の結び付きを築き強くする事で、更なる発展を遂げさせていかななくてはならないと仰っています。

・2月は「平和と紛争予防/紛争解決月間」と言うことで、横組み7頁～16頁に渡り、第2次大戦に関する内容を中心に、平和への想いを綴った記事が多数掲載されております。15頁には、戦争に立ち向かうロータリアンが主人公の映画が紹介されておりますので、是非ご鑑賞下さい。

・縦組みに移りまして、4頁～8頁に渡り、自ら奨学金財団を立ち上げて、ミャンマー人奨学生を支援してきた「今泉記念ビルマ奨学会」今泉清詞会長の記事が掲載されています。大戦中自らが駐在したミャンマー(ビルマ)との交流を今でも続けていらっしやる事は、素晴らしい事だと感じました。

・17頁には、2760地区江南RCの倉知氏の記事が掲載されております。

・16頁に戻りまして、前橋東RC馬場誠氏の記事には、昨年10月14日、馬場氏の長女と一宮RC山口元彦さんご子息修平さんとの結婚式での一幕が掲載されておりますので、是非、御一読下さい。

委員会報告

出席報告

現在の会員数	106名
本日のビジター	0名
本日の出席数	70名
他クラブ出席数	15名
本日の出席率	80.18%
前々回の出席率	97.93%

ニコボックス

- ☆ 佐々木久直君 加藤昭宏君
11月3日に地区補助金事業を実施させて頂き、照光愛育園の子ども達とレゴランドに出掛けましたが、本日は園長の番勝彦様をお招きできた喜びで。
- ☆ 森 俊夫君 吉山佐人規君
本日、米山奨学生の儲葉明君をお招きできた喜びで。
- ☆ 山口元彦君
ひゃ〜〜びっくりしました！！
「ロータリー友」に掲載されています。皆様にはご報告が遅れましたが、昨年10月に次男修平が東京で結婚式を挙げました。現在は豊橋へ転勤になり幸せな新婚生活をスタートさせました。良縁に感謝します。
- ☆ 間瀬道男君
先日の新春夜間例会では、大寒波の中たくさんの方の会員の皆様にご参加頂きありがとうございました。お酒は足りませんでしたでしょうか。色々と不行き届きご寛容ください。
- ☆ 青山佳裕君 関戸 徹君
本日は卓話として照光愛育園園長の番勝彦さんのおはなしを聞ける喜びで！！

***** プログラム *****

卓話

番 勝彦氏(照光愛育園園長)

テーマ「幸せ探し 児童養護施設の子供達を通して」



中学校の教師を36年、教育委員会 不登校対策施設での勤務の後、児童養護施設での勤務。その始まりは不登校7名との対話が発端でありました。学校へ行かず、屋上で花火をあげ、騒ぐ子ども達と向き合い次第に落ち着き登校するまでになったことが始まりでした、1年間限定でうけた仕事が今では10年越えてしまっています。愛知県には22ヶ所、全国に603ヶ所約3万人が入所しています。

入所する理由は親の虐待を受けた子が35%、親が育児をネグレクトする、就労しないから生活ができないなど親の養育が困難により入所した子が58%、両親の疾病により入所した子が7%となっています。また、虐待や貧困だけではなく発達障害児の増加、複雑な家族構成・複数回の婚姻等が現代の問題になっています。

子どもを養護することは明治時代の中頃から

無償の愛として始まり昭和22年児童福祉法の制定から児童養護施設の整備がはじまりました。

この施設での暮らしは2歳から18歳までの期間、卒業と同時に社会で自立していきます。この運営経費は国と県が負担して一人の子供が18歳まで成長するには約7000万円が掛かるといわれています。

子ども達からのメッセージは七夕飾りの札に書かれています。“パパとママと一緒に暮らせませうように”、“早く家に帰れますように”と子ども達はどんな親でもどんな環境でも一緒に生活したいという事しかありません、子ども達には何も罪もありません。すべては大人の事情です。

最後に、このような子ども達が社会に出る時には是非ともこの子ども達を温かく就業の受け入れをして頂き、そして同じ事が繰り返えされないようにご尽力頂きたい。

白金も黄金も玉も何せむに優れる宝

子に及かめやも く 山上 憶良 〉

第3321回例会の記録

2018年2月10日(土)16時~20時

2月8日(木)の例会変更

西尾張分区IM ホスト:尾張中央RC

名鉄ニューグランドホテル



例会変更案内(12:00~12:30 受付)

クラブ名	例会日	例会場	受付
あま	2月19日(月)	名鉄グランドホテル11階	有
尾西	3月2日(月)	尾西信用金庫本店	有